

余部鉄橋撤去鋼材活用方策アイデアコンペ委員会

第2回委員会 議事次第

とき 平成20年11月22日（土） 13:00～16:00

ところ 香住文化会館

1 開会

2 議事

(1) 要綱の改正

(2) 審査員の紹介

(3) 審査の進め方

(4) アイデアの審査

① 企画書による事前審査

② プレゼンテーション審査

③ 最終審査（非公開）

④ 表彰、講評

3 閉会

余部鉄橋撤去鋼材活用方策アイデアコンペ委員会
第2回委員会 出席者名簿

本審査員（アイデアコンペ委員）

区 分	氏 名	役職等	備考
学識者	かわさき まさし 川崎 雅史	京都大学大学院教授	副委員長
	おかだ まさあき 岡田 昌彰	近畿大学理工学部准教授	委員長
地元自治体	ふじわら ひさつぐ 藤原 久嗣	香美町長	
	ばば まさと 馬場 雅人	新温泉町長	
但馬地域代表	ひろせ さかえ 広瀬 栄	但馬自治会会長 養父市長	
地元住民等	やまもと みつお 山本美津男	余部連合自治会長	
	せき きよのり 関 清徳	香住観光協会会長	
鉄道事業者	すぎき たかゆき 杉木 孝行	JR 西日本 大阪工事事務所長	
兵庫県	たにくち しんいち 谷口 進一	但馬県民局長	
	たけもと あきまさ 竹本 明正	県土整備部 県土企画局長	

専門審査員

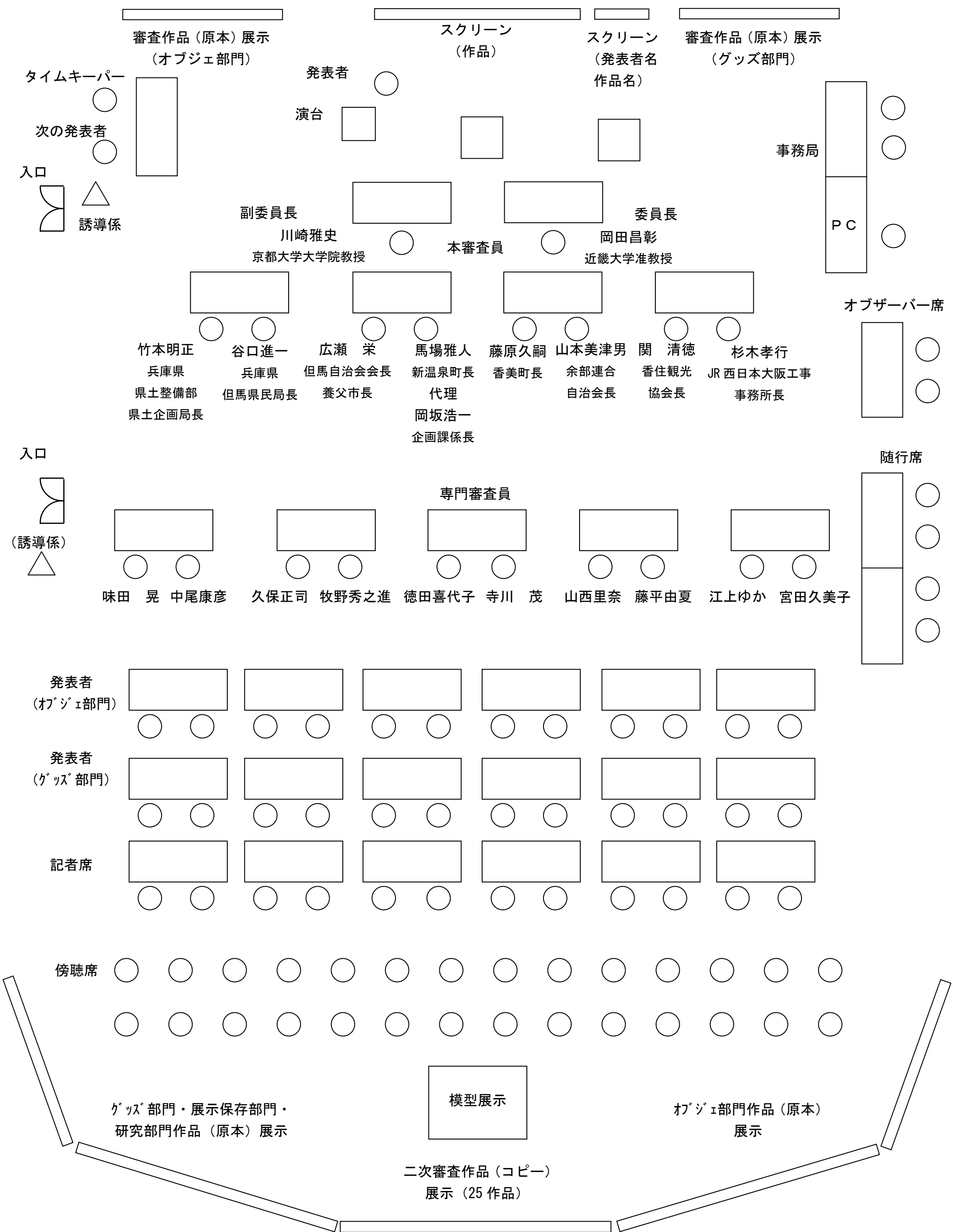
区 分	氏 名	役職等
余部鉄橋 の継承	みた あきら 味田 晃	元香住町教育長
	なかお やすひこ 中尾 康彦	建築工房ヴェネックス
アイデア の実現	くぼ まさし 久保 正司	久保鉄工所代表
	まきのひでのしん 牧野秀之進	但馬技術大学校建築工学科指導員
地域振興	とくだきよこ 徳田喜代子	但馬市郡婦人会連絡協議会会長
	てらがわ しげる 寺川 茂	株式会社スカイウェイ豊岡営業所部長
	やまにし りな 山西 里奈	武庫川女子大学学生（余部出身）
企画	ふじひら ゆか 藤平 由夏	交通科学博物館学芸員
	えがみ ゆか 江上 ゆか	兵庫県立美術館学芸員
	みやたくみこ 宮田久美子	(株)由利カバン企画デザイナー

事務局

役職等	氏 名
兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課長	さかきばら としお 榊原 敏夫
〃 鉄道係長	みやなが かずゆき 宮永 和幸
〃 鉄道係主査	ふくなが えつお 福永 悦男
八千代エンジニアリング（株）大阪支店 主幹	いしづか ゆうこ 石塚 裕子
〃 主任	いとう よしお 伊藤 良雄

余部鉄橋撤去鋼材活用方策アイデアコンペ委員会

第2回委員会 配席表



余部鉄橋撤去鋼材活用方策アイデアコンペ委員会設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、余部鉄橋の近代土木遺産として、また地域文化の象徴、地域振興の貴重な資源としての価値をもつ余部鉄橋を後世に継承する取り組みとして、撤去鋼材の利活用方策の検討にあたりアイデアコンペを実施するため、余部鉄橋撤去鋼材活用方策アイデアコンペ委員会（以下、「委員会」と言う。）を設置し、委員会に関して必要な事項を定める。

(業務)

第2条 委員会は次の各号に掲げる事項を審査する。

- (1) アイデアコンペの募集要項及び審査基準に関する事項
- (2) アイデアコンペの専門審査員の選定に関する事項
- (3) アイデアコンペの広報計画に関する事項
- (4) アイデアコンペの表彰及び講評作成に関する事項
- (5) 前各号に掲げる事項のほか、アイデアコンペに関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は別表に掲げる委員をもって組織し、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は委員の互選によって定める。
- 3 委員長は委員会を代表し会務を総括する。
- 4 副委員長は委員長が指名する委員をもって充てる。
- 5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代行する。
- 6 委員長が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(会議)

第4条 委員会の会議は委員長が招集する。

- 2 委員会は委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数を持って決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員会の会議は原則公開とする。

(解散)

第5条 委員会は、事業の目的を達成した後に解散する。

(事務局)

第6条 委員会の庶務は、県土整備部県土企画局交通政策課において処理し、八千代エンジニアリング(株)が庶務の補佐を行う。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、アイデアコンペの実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則

- 1 この要綱は、平成20年8月13日から施行する。
- 2 この要綱の変更は、平成20年11月1日から施行する。

余部鉄橋撤去鋼材活用方策アイデアコンペ委員会名簿

	氏 名	役職等	備考
学識者	かわさき まさし 川崎 雅史	京都大学大学院教授	副委員長
	おかだ まさあき 岡田 昌彰	近畿大学理工学部准教授	委員長
地元自治体	ふじわら ひさつぐ 藤原 久嗣	香美町長	
	ば ば まさと 馬場 雅人	新温泉町長	
但馬地域代表	ひろせ さかえ 広瀬 栄	但馬自治会会長 養父市長	H20.11.1～
地元住民等	やまもと み つ お 山本 美津男	余部連合自治会長	
	せき きよのり 関 清徳	香住観光協会会長	
鉄道事業者	すぎき たかゆき 杉木 孝行	JR 西日本 大阪工事事務所長	
兵庫県	たにぐち しんいち 谷口 進一	但馬県民局長	
	たけもと あきまさ 竹本 明正	県土整備部 県土企画局長	

アイデアコンペ審査要領

1. 作品の評価視点・採点方法

①作品は以下の評価視点で採点を行います。

評価視点	評価指標
継承	形態、価値、思い、風景、歴史・文化
実現	可能性、使用性、耐久性、維持管理性、製作性
地域振興	観光活用性、PR性、持続性、交流性、供用性
企画	独創性、ユニーク性、話題性、印象性、提案性

②各作品について、評価指標に該当するものにチェックしていただきます。

記入は以下のとおりとします。

記入	点数	点数の考え方
◎	2点	該当し、かつ優れている
○	1点	該当する
無記入	0点	該当しない

③本審査員の採点を2倍したものと、専門審査員の採点を合計したものが作品の採点となります。ただし、専門審査員の専門分野に該当する評価指標の採点は2倍とします。

余部鉄橋撤去部材活用方策アイデアコンペ採点表（オブジェ部門）

審査員名：

評価視点	評価指標	評価の考え方	作品番号											評価指標		
			No. 1	No. 4	No. 5	No. 6	No. 24	No. 35	No. 50	No. 61	No. 62	No. 73	No. 81		No. 88	
継承	形態	余部鉄橋の鋼材であることがわかるスケールや形か														形態
	価値	近代土木遺産と感じとれるか														価値
	思い	余部鉄橋への人々の思いを表現しているか														思い
	風景	余部鉄橋の風景が伝わるか														風景
	歴史・文化	余部鉄橋の歴史、文化が表現されているか														歴史・文化
実現	可能性	実際に制作が可能か														可能性
	使用性	安全で使いやすいか														使用性
	耐久性	壊れにくいものか														耐久性
	維持管理性	補修・点検がしやすいか														維持管理性
	製作性	地元企業等で対応可能か														製作性
地域振興	観光活用性	新たな観光資源になるか														観光活用性
	PR性	余部のまちなじむか														PR性
	持続性	いつまでも親しみがもてるか														持続性
	交流性	会話が生まれるものとなるか														交流性
	供用性	様々な人が利用できるか														供用性
企画	独創性	これまでにないものであるか														独創性
	ユニーク性	面白みのあるものか														ユニーク性
	話題性	全国的に注目される要素があるか														話題性
	印象性	人々の心に印象が残りやすいものであるか														印象性
	提案性	利用面も含めた総合的な提案であるか														提案性
◎の合計																
○の合計																
合計																

記入	点数	点数の考え方
◎	2点	該当し、かつ優れている
○	1点	該当する
無記入	0点	該当しない

余部鉄橋撤去部材活用方策アイデアコンペ採点表（グッズ部門）

審査員名：

評価視点	評価指標	評価の考え方	作品番号											評価指標		
			No. 2	No. 7	No. 8	No. 9	No. 19	No. 25	No. 26	No. 30	No. 33	No. 34	No. 36		No. 40	No. 41
継承	形態	余部鉄橋の鋼材であることがわかるか														形態
	価値	近代土木遺産と感じとれるか														価値
	思い	余部鉄橋への人々の思いを表現しているか														思い
	風景	余部鉄橋の風景が伝わるか														風景
	歴史・文化	余部鉄橋の歴史、文化が表現されているか														歴史・文化
実現	可能性	実際に制作が可能か														可能性
	使用性	安全で使いやすいか														使用性
	耐久性	壊れにくいものか														耐久性
	維持管理性	手入れがしやすいか														維持管理性
	製作性	地元企業等で対応可能か														製作性
地域振興	観光活用性	商品としての魅力があるか														観光活用性
	PR性	余部のまちに行きたいと思うか														PR性
	持続性	いつまでも大切にもらえるか														持続性
	交流性	会話が生まれるものとなるか														交流性
	供用性	様々な人が利用できるか														供用性
企画	独創性	これまでにないものであるか														独創性
	ユニーク性	面白みのあるものか														ユニーク性
	話題性	全国的に注目される要素があるか														話題性
	印象性	人々の心に印象が残りやすいものであるか														印象性
	提案性	利用面も含めた総合的な提案であるか														提案性
◎の合計																
○の合計																
合計																

記入	点数	点数の考え方
◎	2点	該当し、かつ優れている
○	1点	該当する
無記入	0点	該当しない

発表者の皆様へ

審査会で発表される方は、下記の遵守事項をお守りください。

- 1 次の各号のいずれかに該当する方は、審査会で発表することができません。
 - (1) 迷惑を及ぼすおそれのある物品を携帯している方
 - (2) 下駄、木製サンダルの類を履いている方
 - (3) 酒気を帯びていると認められる方
 - (4) 異様な服装をしている方
 - (5) その他議事を妨害することを疑うに足りる顕著な事情が認められる方

- 2 発表時間及び発表順
 - (1) プレゼンテーションは以下の通りとします。
 - ・プレゼンテーションの時間は3分間です。
 - ・プレゼンテーション開始から2分30秒経過したら、呼び鈴を1回鳴らします。
 - ・3分間経過したら、呼び鈴を2回鳴らしますので、プレゼンテーションを終了してください。
 - (2) 発表順はクジで決定します。
 - (3) 発表においては、誘導係員の指示に従ってください。

- 3 発表者の方は、次の事項をお守りください。
 - (1) 審査員が行う企画書による事前審査の間、発表される方は、着席願います。
 - (2) 審査会中、審査員の採点を覗き込むことはしないで下さい。
 - (3) 他人のアイデアと比べたり、批判したりしないでください。そのような行為が見受けられた場合は、退場していただくことがあります。
 - (4) 審査の公平性を保つため、プレゼンテーションのための新たな資料の提出は認めません。
 - (5) 発表者のプレゼンテーションが終了したら、全員に拍手をお願いします。
 - (6) 私語、喚声その他の行為により騒ぎ立てないでください。
 - (7) 飲食又は喫煙をしないでください。
 - (8) 携帯電話の電源は切って入室してください。
 - (9) その他、審査会の進行を乱すおそれのある行為をしないでください。

※配布した作品は未発表作品であり、事務局の承諾のなき使用は禁止します。

傍聴者の皆様へ

審査会を傍聴される方は、下記の遵守事項をお守りください。

- 1 次の各号のいずれかに該当する方は、審査会を傍聴することができません。
 - (1) 迷惑を及ぼすおそれのある物品を携帯している方
 - (2) 下駄、木製サンダルの類を履いている方
 - (3) 酒気を帯びていると認められる方
 - (4) 異様な服装をしている方
 - (5) その他議事を妨害することを疑うに足りる顕著な事情が認められる方

- 2 傍聴席においては、次の事項をお守りください。
 - (1) 審査員が行う企画書による事前審査の間、傍聴される方は、着席願います。
 - (2) 審査会中、審査員の採点を覗き込むことはしないで下さい。
 - (3) 発表者のプレゼンテーションが終了したら、全員に拍手をお願いします。
 - (4) 私語、喚声その他の行為により騒ぎ立てないでください。
 - (5) 飲食又は喫煙をしないでください。
 - (6) 携帯電話の電源は切って入室してください。
 - (7) その他、審査会の進行を乱すおそれのある行為をしないでください。
 - (8) 係員の指示に従ってください。

※配布した作品は未発表作品であり、事務局の承諾なき使用は禁止します。